



たんす預金が7億円もあるなら安心だね。



いや、それがそうとも言えないんだ。

さつきも言ったように、市は今年、3つの基金等から約5億円を下ろすことになっているんだ。

だから、貯金とたんす預金を合わせて19億円あったも、もしこの先、同じペースで使ってしまうと、3年後には無くなってしまふことになるから、決して安心できる状況ではないんだ。

今後の市の財政



私たちのまちの財政の現状はわかりました。では、今後はどうなっていくのでしょうか。

子どものことを思うと、まちの将来が心配で……。



市民の皆さんからの税金は、景気低迷や人口減少の影響から、大きな伸びは望めず、長い目で見れば減少していくでしょう。

POINT 市の財政状況⑤

平成22年度における各会計の黒字のうち、一般会計の黒字は、平成23年度の財政運営に使うことができるお金であり、家庭でいうところのたんす預金、企業でいうところの運転資金に当たるものです。

平成22年度一般会計決算の状況

	収 支 額 (黒字額)	繰越事業財源	実質的な収支額 (実際の黒字額)
一般会計収支額 (黒字額)	7億3,041万円	7,004万円	6億6,037万円

財源調整用基金等と一般会計黒字額の状況

3つの基金等の残高 (平成22年度)	12億 567万円
一般会計の実際の黒字額	6億6,037万円
合 計	18億6,604万円

平成22年度末における財源調整用基金等の残高と一般会計黒字額の合計額は、18億6,604万円となり、これが、平成23年度以降の財政運営に使うことができるお金です。

POINT 市の財政状況⑥

市は昨年度、平成22年度から25年度を期間とする『中期財政見通し』を策定しました。

見通しでは、財源調整用基金等の取り崩しで補てんできる範囲ではあるものの、期間内の4年間に累積で約7.7億円の赤字が生じることが見込まれました。

このため、市は、これまで取り組んできた歳出圧縮や歳入確保に引き続き努力するとともに、同じく昨年度策定した『行財政改革実施プラン』に基づき、より効率的な行財政運営を目指して取り組みを進めています。



国からの地方交付税も、東日本大震災の復興に必要なお金を確保されるのが心配されます。



そうなんですか……。では支出を減らさなければなりませんね。



それは難しいのが現状です。市は、ここ数年過去に建てた大型施設

の借金返済に苦しんできましたが、今後も数年間は、その状態が続く見込みです。



また、老朽化した公共施設を多く抱えているため、今後は、施設の建て替えや改修にも多くのお金が必要になることが予想されます。さらに、長引く景気低迷のため、経済対策にも力を入れなければなりません。



ほくが大きくなるころ、まちは大丈夫なのかな。心配だよ……。



大丈夫。もちろん、市もしっかり対応しているよ。数年先までの財政の見通しを立てて、計画的なやりくりを行っているし、市の事業のやり方をより無駄のないものにするため、計画を立てて取り組んでいるんだ。



市は、このましが、財政破綻することなく、将来にわたって安心して暮らせるまちにするため、さまざまな取り組みを行っているんですね。



はい。私たち市民は、市がそうした取り組みを継続し、より慎重にお金をやりくりするよう見守っていかねばなりません。



そうだね。家に帰ったらさっそく市役所のホームページでいろいろチェックしてみよう！



私も息子と一緒に、市の財政を勉強してみます。今日は本当にありがとうございました。



いえいえ。お2人が少しでも、まちの台所事情に興味を持ってくださったのなら何よりです。それではこれで失礼します。



バイバイ！
……ねえ、お父さん。さつきのおじさん、どこかで見たことない？



うーん……。あ、そういえばインターネットの議会中継で……。



ほくは確か、卒業式のときに……。



もしかして、あのおじさん……市長じゃないっ？